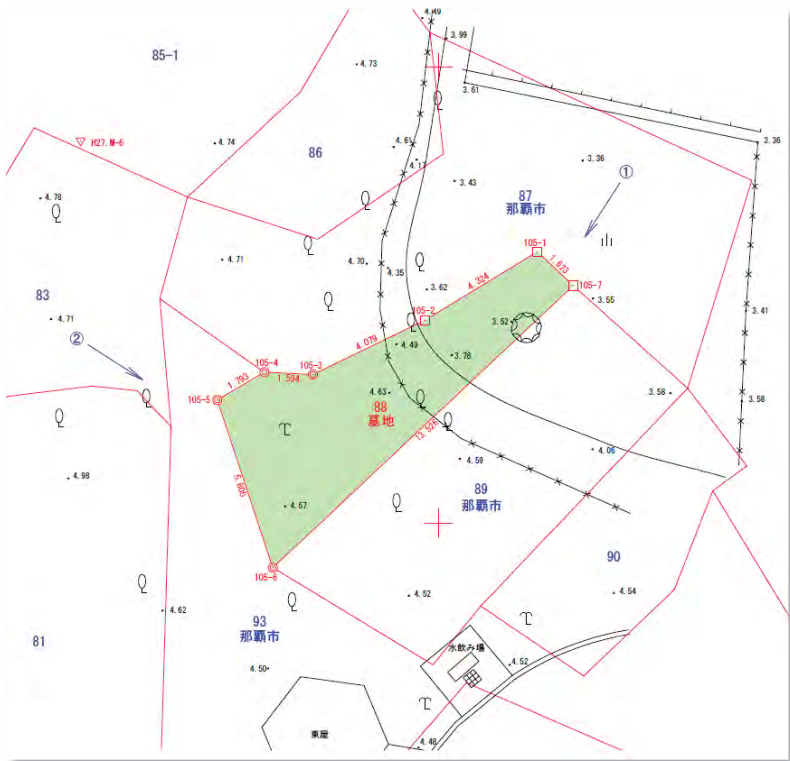


⑦	那覇市
所在	: 那覇市
面積	: 計 165.94 m ²
地目	: 墓地
現況	: 公園・グラウンド
対象筆総数	: 6 筆
管理者	: 那覇市（全筆）
占有者	: 那覇市（全筆）
土地の概況	: ○緑ヶ丘公園の公園内に存在する。
契約の状況	: ○契約は締結されていない。
<現況①> <現況②> <現況③>    <位置図>  資料) 地図データ©2019 Google MAPにMURC加筆	

＜測量図＞



現況及び測量図：資料）沖縄県「所有者不明土地実態調査業務委託報告書」

⑧	本部町
所在	: 本部町
面積	: 計 6812.00 m ²
地目	: 原野（全筆）
現況	: 公園・グラウンド（全筆）
対象筆総数	: 2筆
管理者	: 沖縄県（全筆）
占有者	: 国（全筆）
土地の概況	: ○国営沖縄記念公園（通称：海洋博公園）の敷地内に存在する。 ○平成 21 年に潰れ地調査を実施し、当該土地について沖縄総合事務局に照会をかけた結果、所有者不明土地であることが判明した。
契約の状況	: ○潰れ地調査の結果を受けて、公園管理者である沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所と契約を締結しようとしたものの、調整が調わず、未契約となっている。

<現況①>



<現況②>



<現況③>



<現況④>

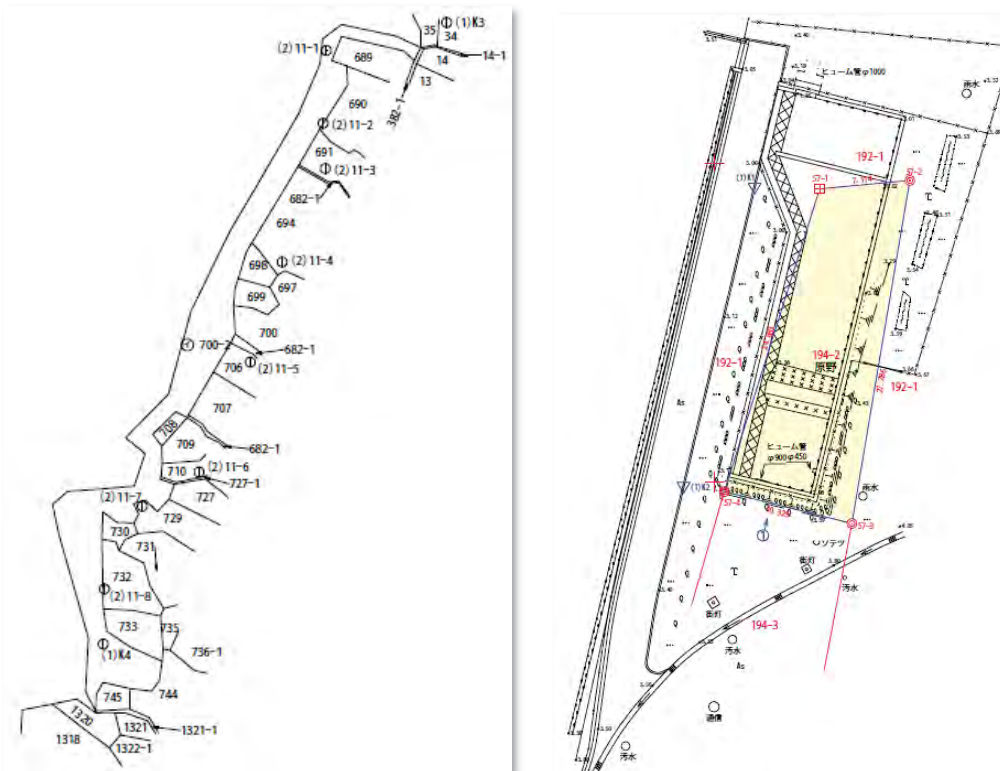


<位置図>

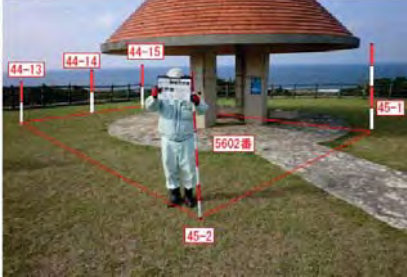




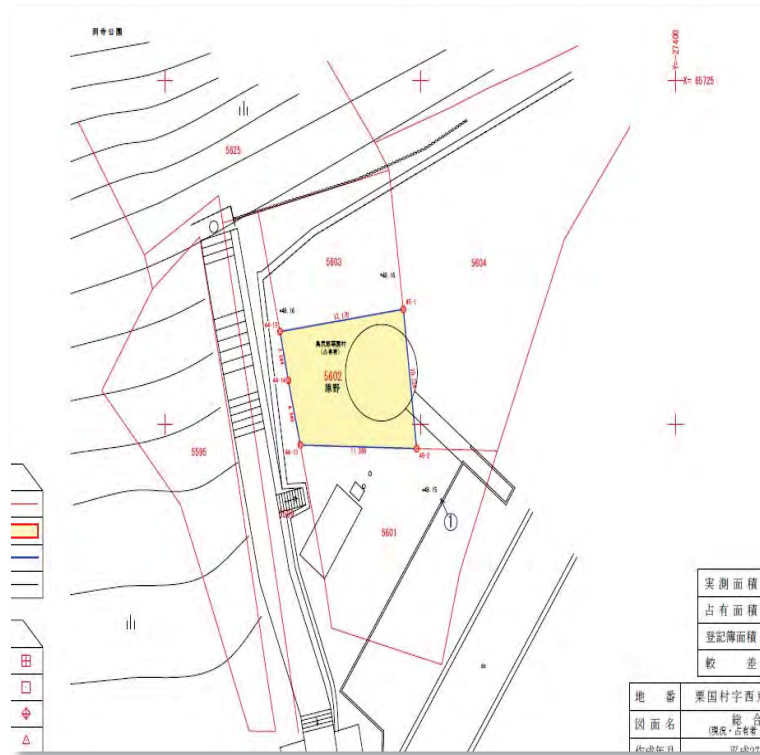
<測量図>



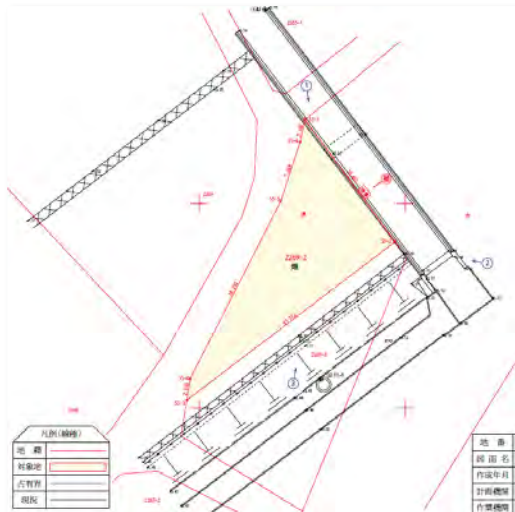
資料) 沖縄県「所有者不明土地実態調査業務委託報告書」に MURC 加筆

⑨ 栗国村	
所在	: 栗国村
面積	: 計 677.00 m ²
地目	: 原野（全筆）
現況	: 公園・グラウンド、山林・原野 一現況累計は山林・原野だが、現況は「洞寺公園」の記載あり
対象筆総数	: 3筆
管理者	: 沖縄県（全筆）
占有者	: 市町村（全筆）
土地の概況	: ○洞寺公園の開設は、平成20年頃であり、同公園には鍾乳洞があり、むんじゅる節の歌碑・ブロンズ像もたてられている。 ○洞寺公園周辺には所有者不明土地が点在している。
契約の状況	: ○洞寺公園は平成20年から県と栗国村で賃貸借契約を締結している。 ○1筆の一部は現況類型が公衆用道路であるが、道路部分の賃貸借契約はない。
<現況①>  <現況②>  <現況③>  <位置図>  栗国村字西 東野蔵5599	

＜測量図＞



資料) 沖縄県「所有者不明土地実態調査業務委託報告書」

⑩	うるま市
所在	: うるま市
面積	: 計 281.00 m ²
地目	: 畑
現況	: 河川
対象筆総数	: 1 筆
管理者	: 沖縄県
占有者	: 不明
土地の概況	○沖縄県知事が管理する二級河川である、石川川の川底に位置する。 ○周囲の筆界より、蛇行していた石川川を直線化した河川改良の結果、川底に沈んだと推察される。
契約の状況	○契約は締結されていない。道路と同様、調整等は実施されていないものとみられる。 ○占有者は県である。
<現況>  <測量図>  <位置図> 	
資料) 沖縄県「所有者不明土地実態調査業務委託報告書」	

⑪	栗国村
所在	: 栗国村
面積	: 計 450.81 m ²
地目	: 畑
現況	: 農業用3号溜池 雑木林 (ギンネム)
対象筆総数	: 4筆
管理者	: 沖縄県 (全筆)
占有者	: 市町村 (全筆)
土地の概況	○県による土地改良事業で整備されたため池であり、村が使用中である。 ○4筆のほか、字西白洲原にも市町村管理地のため池1筆があり、これら5筆は、換地である可能性がある。 ※白州原のため池は、50年以上前から存在していた可能性が高い。同筆近くに所在する御願所の入口の北側を道路にする予定だったが、米軍の整備によって東側が道路になったという話もあり、その道がため池に続いていることから、道路と同時に開発された可能性がある。
契約の状況	: ○契約は未締結であり、経緯は不明である。

<現況①>



<現況②>



<現況③>

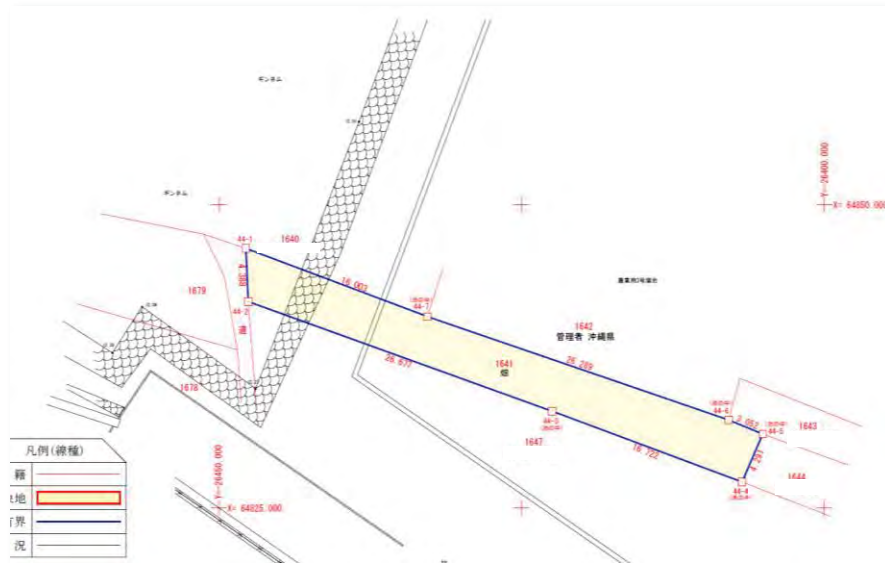


<位置図>



資料) 地図データ©2019 Google MAPにMURC加筆

<測量図>



現況及び測量図：資料）沖縄県所有者不明土地実態調査業務委託報告書」

② B-2：学校・庁舎等

1) 対象筆の概要

B 類型のうち、実態調査の結果、国・地方公共団体が、公共の用に供する用途で占有している土地であり、建物がある（建物がある土地を含む用途）筆を B-2:学校・庁舎等として小類型化した。具体的には「住宅用地」「公共施設（除：学校）」「学校用地」に該当するものである。

本類型に該当する所有者不明土地は合計 42 件存在する。用途別にみると、「住宅用地」が 2 件、「公共施設（除：学校）」が 18 件、「学校用地」が 22 件であり、管理者別にみると、名護市が最も多く 15 件あり、用途は「公共施設（除：学校）」のみとなっている。次いで、沖縄県に 13 件、那覇市に 11 件、南風原町に 3 件存在する。

この類型においては、契約のある筆は沖縄県が管理者となっている筆 11 件のみである。契約のある筆においては、「公共施設（除：学校）」が 2 件、「学校用地」が 9 件となっている。

図表 86 B-2類型に該当する土地

【全体】

管理者	件数	住宅用地	公共施設(除:学校)	学校用地
沖縄県	13	1	2	10
那覇市	11	1	0	10
本部町	0	0	0	0
うるま市	0	0	0	0
名護市	15	0	15	0
西原町	0	0	0	0
北中城村	0	0	0	0
沖縄市	0	0	0	0
中城村	0	0	0	0
浦添市	0	0	0	0
嘉手納町	0	0	0	0
読谷村	0	0	0	0
南風原町	3	0	1	2
宜野湾市	0	0	0	0
粟国村	0	0	0	0
久米島町	0	0	0	0
市町村管理地計	29	1	16	12
合計	42	2	18	22

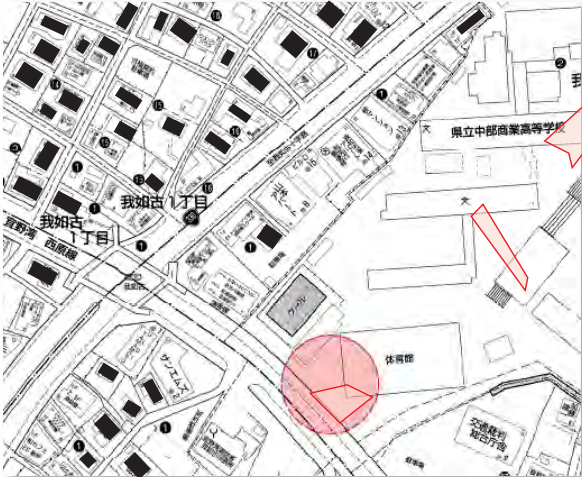
【うち、契約有】

管理者	件数	住宅用地	公共施設(除:学校)	学校用地
沖縄県	11	0	2	9
市町村管理地計	0	0	0	0
合計	11	0	2	9

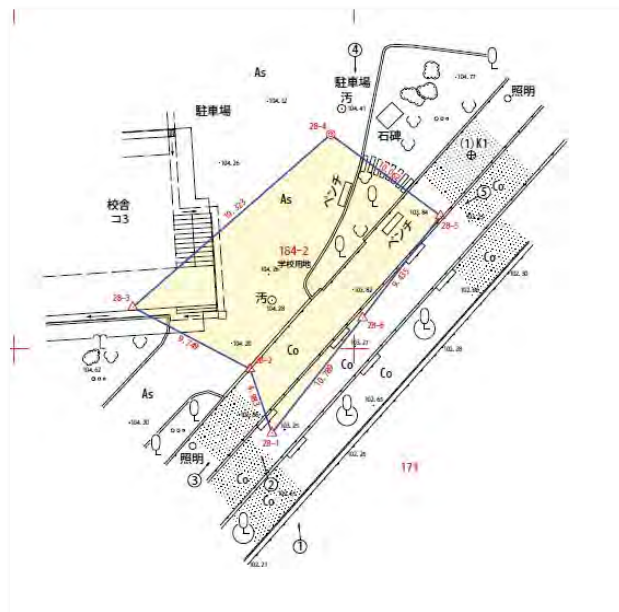
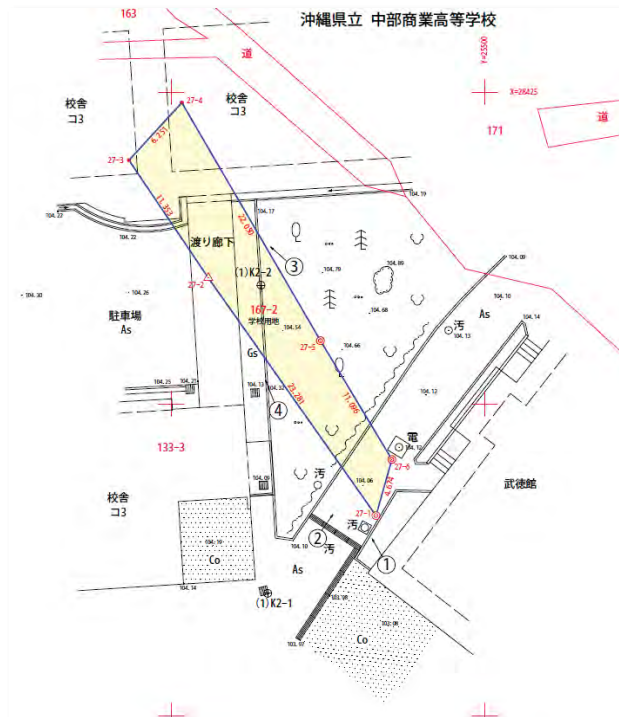
【うち、契約無】

管理者	件数	住宅用地	公共施設(除:学校)	学校用地
沖縄県	2	1	0	1
那覇市	11	1	0	10
本部町	0	0	0	0
うるま市	0	0	0	0
名護市	15	0	15	0
西原町	0	0	0	0
北中城村	0	0	0	0
沖縄市	0	0	0	0
中城村	0	0	0	0
浦添市	0	0	0	0
嘉手納町	0	0	0	0
読谷村	0	0	0	0
南風原町	3	0	1	2
宜野湾市	0	0	0	0
粟国村	0	0	0	0
久米島町	0	0	0	0
市町村管理地計	29	1	16	12
合計	31	2	16	13

2) 代表的な事例

①	宜野湾市
所在	： 宜野湾市
面積	： 計 565.00 m ²
地目	： 学校用地
現況	： 学校用地、校庭・校舎
対象筆総数	： 3筆
管理者	： 沖縄県（全筆）
占有者	： 沖縄県（全筆）
土地の概況	○沖縄県立中部商業高等学校の敷地内に3筆の不明土地が点在している。 ○同校は昭和39（1964）年に開校した県立高校である。
契約の状況	○開校年次を踏まえると、本土復帰前から学校用地として利用されており、賃貸借契約は昭和63（1988）年から締結されている。当時の資料は残っておらず、経緯は不明。 ○賃貸人は沖縄県、賃借人は沖縄県立中部商業高等学校校長で、当初は1年単位、直近では5年単位で契約を更新している。
<現況①> 	
<現況②> 	
<現況③> 	
<位置図> 	

<測量図>



資料) 沖縄県「所有者不明土地実態調査業務委託報告書」に MURC 加筆